

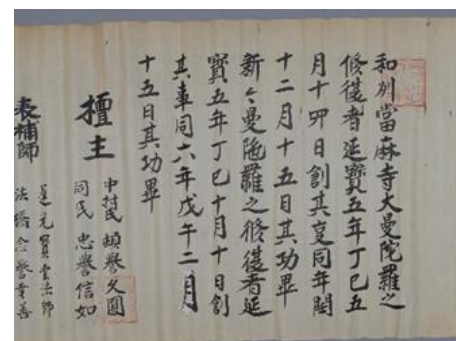
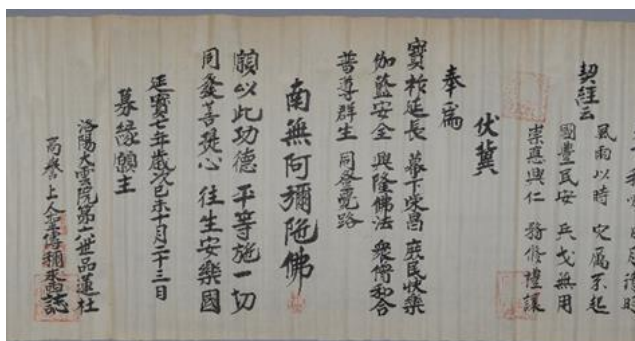
## 當麻曼荼羅（貞享本）の修理と初公開の軸内納入品について

平成 30～令和 2（2018～2020）年度に、當麻寺所蔵の重要文化財當麻曼荼羅（貞享本）の本格修理が行われました。平成 20～23（2008～2011）年度に行われた重要文化財當麻曼荼羅（文龜本）、平成 26～29（2014～2017）年度に行われた国宝綴織當麻曼荼羅の本格修理に続く修理で、いずれも国庫補助事業として実施され、奈良国立博物館内文化財修理所において、（株）文化財保存が施工を担当しました。

修理の際、本図の下軸内から 40 点ほどの文書が確認されました。これら文書のうち奉納願文（写真下）には貞享本成立の経緯やそれに関わった人々の名前が記されています。文書の一部は昭和 31～35（1956～1960）年度に行われた當麻寺本堂（曼荼羅堂）修理の際に存在が確認されましたがこの時は軸内に戻されていませんでした。今回の修理では別置保存となり、本展で初公開いたします。



重要文化財 當麻曼荼羅（貞享本） 奈良・當麻寺蔵



重要文化財 當麻曼荼羅（貞享本）軸内納入品のうち奉納願文 奈良・當麻寺蔵